

監査報告書

2019 年 5 月 8 日

一般社団法人 日本ペンクラブ
会 長 吉岡 忍 殿

一般社団法人 日本ペンクラブ
監 事 川口 俊夫
同 鈴木 文彦
同 宮田 昭宏

私たち監事は、一般社団法人日本ペンクラブの、2018 年度（平成 30 年度：平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで）における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 組織の管理を合理的な仕組みで対応すべき点多々あったが、結果的に組織の運営・管理が行き届かなかったことは否めません。ガバナンスやコミュニケーションの欠如は、公益事業の本来の目的を遂行する妨げとなり、このことは理事及び監事も含め、役員全体が反省すべき点であります。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以 上